

4. タイムスタディの成果

4-1 BMさんの事例

(1) BMさんのプロフィール

出生から学校時代

1978年7月、奈良県にて三人兄弟（兄・妹）の二番目として生まれる。

奈良県の幼稚園に通ったが、小学校入学時に父の転勤で熊本に転居する。3年生の時に父の転勤でまた奈良県に戻る。中学2年生の時に大阪に転居し、大阪の私立高校を卒業する。中学校では水泳クラブ・卓球クラブに所属し、高校時代は卓球クラブと生徒会の会計を担当するなどしていた。

うつ病発症

高校卒業前に自動車教習所に通い始めるが、教習生の数が多く、年度末というごった返す時期でもあり、教習所内での競争の波に圧倒されてしまう。これを機会に落ち込み、自分の今後のことなどについて不安を感じるようになった。不安感が増大してか、ノイローゼ気味になり、大阪の大手電機メーカーに決まっていた就職も辞退せざる得なくなる。パニック状態となり、カッターナイフで首を切ったりしたこともあった。夜中に自宅を出て歩き回っているところを消防で保護される。その後、精神科を受診し「うつ病」と診断された。

母親が今後について保健所に相談し、保健所から心身障害者共同作業所を紹介され、保健所のPSWと母親・本人で作業所見学に来る。その後、作業所に通いはじめたものの雰囲気になかなかなじめなかった。週数回通所でできればいいほうだった。作業所に通いながらも、短期間のアルバイトに行き始めるなど、社会に出る努力をしていた。

事故から身体障害に

2000年3月、事故で大怪我をする。命は取り留めたが、両足、背中を打撲、腕を骨折し、治療を受けるが、身体障害が残り車イスでの生活となる。車イスで入浴などの介助が必要となり、家族が自分に対して何かと気を使ってくれるようになったこともあるのか、うつ症状は緩和され明るくなった。

身体介護が必要になった家族の負担を軽減するため、ホームヘルプサービスでの入浴援助の利用を行政に交渉する。家へのヘルパー派遣ではなく、障害者生活支援センター内での入浴援助をホームヘルプで認めてもらう。また、車イスでの生活になってから、レスパイトサービスの利用を始める。気を使うと疲れやすいため、いつも仲の良い知的障害者のBYさん一緒にレスパイトサービスでは宿泊している。

支援費制度が始まって

支援費制度が始まり、スタッフがボランティアで行っていたBMさんの外出支援について全身性障害者の日常生活支援制度を利用できないのか行政に交渉する。しかし、全身性障害の解釈が「上肢下肢ともに1級」となっており、BMさんの場合は下肢のみ1級ということで非該当と言われる。

現在もPMさんの外出支援は、共同作業所や障害者生活支援センターのスタッフがボランティアで行なっている。

(2) BMさんの1週間

2003年12月1日(月)

朝の活動

8時20分、母親に起こされてBMさんは目が覚めた。なかなか目が覚めない。着替えをして洗面所に行くが、車イスでは洗面所が狭いので洗にくい。朝食にご飯・味噌汁・りんごを食べる。その後、歯磨きをする。夜間は、膀胱からつながっている管を尿取袋に接続(バルーンカテーテル)している。袋に溜まった尿を便所に捨てる。9時に作業所の車が家の前まで迎えに来る。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：母親による起床促し・朝食作り(20分)

作業所での活動

10時に作業所に到着後、ラジオ体操をする。カレンダー作りでは、カレンダーを綴る紐を同じ長さに測って切る作業をする。12時に給食で牛丼を食べる。

※) 支援費による社会資源：なし

※) 支援費以外の社会資源：共同作業所半日(3時間30分)

入浴サービスを受ける

13時30分、デイサービスセンターの車が作業所に迎えに来た。13時40分、デイサービスセンターのスタッフと世間話をしながら入浴援助を受ける。入浴後、デイセンターの車で自宅まで送ってもらい帰宅する。

※) 支援費による社会資源：ヘルパー派遣事業所Aによる身体介護(1時間)

支援費以外の社会資源：移送サービス(20分)

自宅での時間

帰宅後、疲れていたの少し昼寝する。16時30分トイレに行くがその後また寝る。18時30分に夕食を食べた。この日のメニューは、ぶりの照り焼き・茶碗蒸し・菊菜のおひたしだった。夕食後、テレビでアニメを観る。

20時、母親に浣腸してもらおう。排便のときは、毎回、母親に浣腸してもらおう。3日に1回の割合で浣腸してもらい排便する。排便し、張っていたお腹がすっきりした。21時に寝る前の薬を飲む。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：母親による夕食作り(1時間)、浣腸(10分)

夜のリハビリ訓練

21時45分から母親に手伝ってもらい、夜のリハビリ訓練をする。歩行器で自分の部屋から台所まで一往復と腹筋10回、バーベル3kgを10回持ち上げる。22時30分に就寝した。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：母親によるリハビリ訓練の援助(15分)

2003年12月2日(火)

リハビリ訓練のため通院

9時、ヘルパーの付き添いで病院に行く。デイサービスセンターから迎えの車が来る。

9時20分、Y病院にてリハビリ訓練を行う。まず、鉄アレイ 3.5 kgを両手に持ってリハビリをした。次にマットの上で両手をつき、体を支えてお尻を浮かせる動作を7分間する。その後、理学療法士に足のマッサージをしてもらう。最後は平行棒を使って歩いた。

病院でのリハビリ訓練が終わり、作業所に送ってもらう。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：移送サービス（往復 40分）、デイスタッフによるリハビリの付き添い（40分）

自宅での時間、夕食など

16時10分、作業所より帰宅する。おやつを少し食べ、少し昼寝した。ベッドに横になるとすぐに眠くなる。18時40分に夕食。台所から油の匂いがただよってきて、お腹がすいた。この日の夕食はてんぷら定食だった。BMさんは椎茸が苦手だが、椎茸も食べた。夕食後、テレビでお笑い番組を観て過ごす。

21時、寝る前の薬を飲んだ。21時45分、歩行器で台所まで歩く練習をした。22時、BMさんの好きな電車のテレビ番組を観た。以前に住んでいた近くの近鉄東山駅が映っていた。水の処理場も映っていた。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：母親による夕食作り（1時間）、リハビリ訓練の援助（15分）

2003年12月3日（水）

朝の活動

8時30分に起床する。朝起きて「少ししんどいな・・・」と思った。毎晩服用している眠前薬のせいとBMさんは思う。朝はいつもそんな感じである。朝起きてまず着替えをする。その日に着る衣類は母親が用意して車イスの座席に乗せてある。自分で着替えをして洗面所へ行く。この日の朝食には、おにぎり2個・味噌汁・りんご2個を食べる。母親と二人で朝食を食べる。朝食は毎日おいしく食べられている。9時に作業所の送迎の車が来る。母親が職員に「最近、朝なかなか起きないんです」と愚痴をこぼしていた。職員や、次々と乗ってくるみんなと雑談しながら作業所に着く。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：母親による起床促し・朝食作り（20分）

2003年12月4日（木）

作業所を休む1日

5時に目が覚めたので、そのまま台所に行きバナナを1本食べた。その後、布団に入りもうひと眠りし、10時に起床する。今日は作業所を休むので、ゆっくり寝ていた。いつもなら木曜日はY病院でリハビリ訓練の予定なのだが、今回は予約がとれなかった。早朝にバナナを一本食べたので朝食は食べず、着替えもせず、ベッドでのんびり過ごす。

11時、着替えをする。12時、昼食にパンと牛乳を食べる。テレビで「笑っていいとも」を観ながら母親と一緒に食べる。13時、昼寝する。

15時、母に手伝ってもらい、荷物の用意をしてデイサービスセンターで泊まる用意をする。その後、母親が運転する車でデイサービスセンターに行く。母親の運転もだいぶ慣れ

てきたと BM さんは思う。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：母親による昼食準備（10分）、荷物の準備（10分）、デイサービスセンターまでの送り（15分）

レスパイトサービス

16時、デイサービスセンターに到着する。今回一緒に泊まるメンバーは Y 君・I 君・SE 君で、スタッフは N さんだった。みんなで夕食と朝食のメニューを決める。BM さんの意見で夕食はシチューに決まる。買い物は近所のスーパーまで歩いて行く。食事の材料とコーラを一本買う。

17時、みんなで分担して夕食作りをする。BM さんはジャガイモの皮むきをする。にぎやかに会話しながら作るがスタッフは忙しそうに動いていた。

18時45分、夕食にシチュー・サラダ・ご飯を食べた。夕食もうるさく会話しながら食べる。一番やかましいのは I 君だった。シチューには BM さんの嫌いなブロッコリーが入っていたが、我慢して食べる。おいしかった。19時30分、後片付けをみんなで分担して行う。片付けの後、テレビでサッカーを観る。

21時、スタッフの N さんに手伝ってもらい入浴する。移動のみ介護してもらい、あとは自分でする。BM さんは「最近ちょっと肉が付いてきたかな？」と N さんに言われる。

21時30分、コーラを飲みながらサッカーの試合（日本 vs 中国）を観る。22時、BM さんはベッドのある洋室に一人で就寝した。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：レスパイト1泊、デイサービスセンタースタッフによる入浴介助（30分）

2003年12月5日（金）

レスパイトの朝

7時30分に起床する。Y 君が起こしに来てくれた。着替えと洗面を済ませて台所に行く。Y 君・BM さん・N さんで朝食準備をする。食パンにハムとチーズをのせてトースターで焼く。コーヒーも飲む。食後の後片付けをするが、部屋掃除までする時間がなかった。

9時30分、デイセンターに迎えに来たマイクロバスに乗って作業所に移動した。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：レスパイトサービス

2003年12月6日（土）

ある作業所が休みの午前中

11時45分に起床する。土曜・日曜は特に遅くまで寝ていることが多い。12時に朝食・昼食兼用のうどんを食べた後、13時15分、母の運転する車でデイサービスセンターに行き入浴する。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：母親による昼食準備（20分）、送迎（15分）
入浴サービスを受ける

13時30分、デイサービスセンターに着く。スタッフのHさんに入浴介助してもらう。シャワーチェアに乗り換え、押しもらい浴槽のそばまで行く。体は自分で洗う。シャワーチェアはお尻の部分が丸く切り取ってあるのでお尻を自分で洗うことができる。家のお風呂より広いのでゆっくりくつろげた。デイサービスセンターでは、更衣の時に車イスの上でパンツをはいたり、靴下をはいたりしている。家ではベッドの上で寝転びながら着ている。

14時30分、デイサービスセンターの車で自宅まで送ってもらう。

※) 支援費による社会資源：ヘルパー派遣事業所Aによる身体介護（1時間）

支援費以外の社会資源：移送サービス（15分）

2003年12月7日（日）

ある作業所が休みの午前中

昨日と同じように11時30分に起床する。テレビでニュースを観る。12時15分、昼食に日清の味噌ラーメンを食べる。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：母親による昼食作り（15分）

父親とドライブ

13時、父親の運転で平城宮跡にドライブに行く。父親の運転なので、安心して乗ることができる。奈良ファミリーに行く車が多く、渋滞に巻き込まれる。13時30分、平城宮跡に到着した。散歩をする。難波行き急行・特急の回送車・国際会館行き急行を見た。乗客の顔が分かるくらいの絶好の場所である。風が出てきて少し寒くなってきたので車で帰宅した。一条高校の前を通り、24号線を走って帰った。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：父親によるドライブ（2時間30分）

(3) BMさんが1週間に利用する社会資源(2003年12月1日～7日の場合)

1) 社会資源の種類別にみる所要時間の内訳

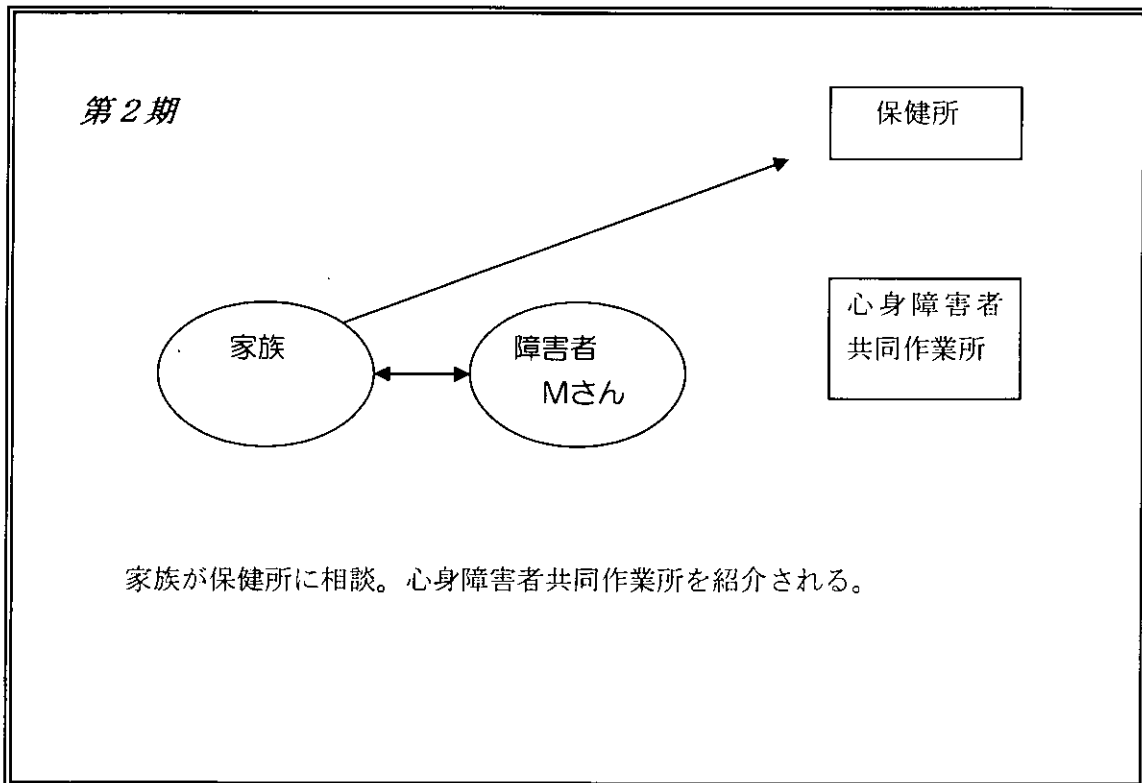
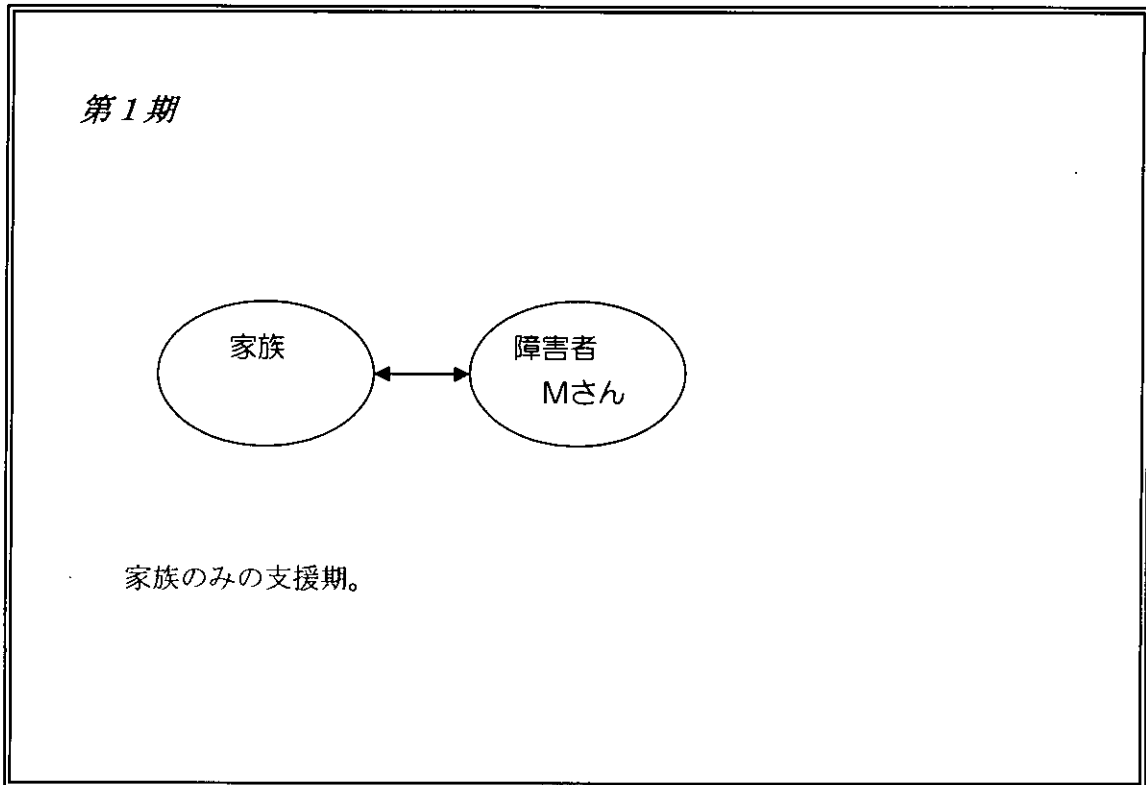
種類 曜日	支援費による 社会資源	支援費以外の社会資源			
	身体介護	作業所	レスパイト	送迎サービス	その他
月曜	事業所A 1時間	作業所半日		事業所A 20分	母親 1時間 45分
火曜		作業所 1日		事業所A 40分	母親 1時間 35分, 事業所A 40分
水曜		作業所 1日			母親 1時間 35分
木曜			1泊		母親 35分
金曜		作業所 1日		作業所 20分	母親 1時間 15分, 作業所 40分
土曜	事業所A 1時間			事業所A 20分	母親 1時間 35分
日曜					母親 1時間 30分, 父親 2時間 30分
合計	2時間	3.5日	1泊	1時間 40分	13時間 40分
備考			有料	有料	リハビリ付添いにヘルパーは認められなかった。

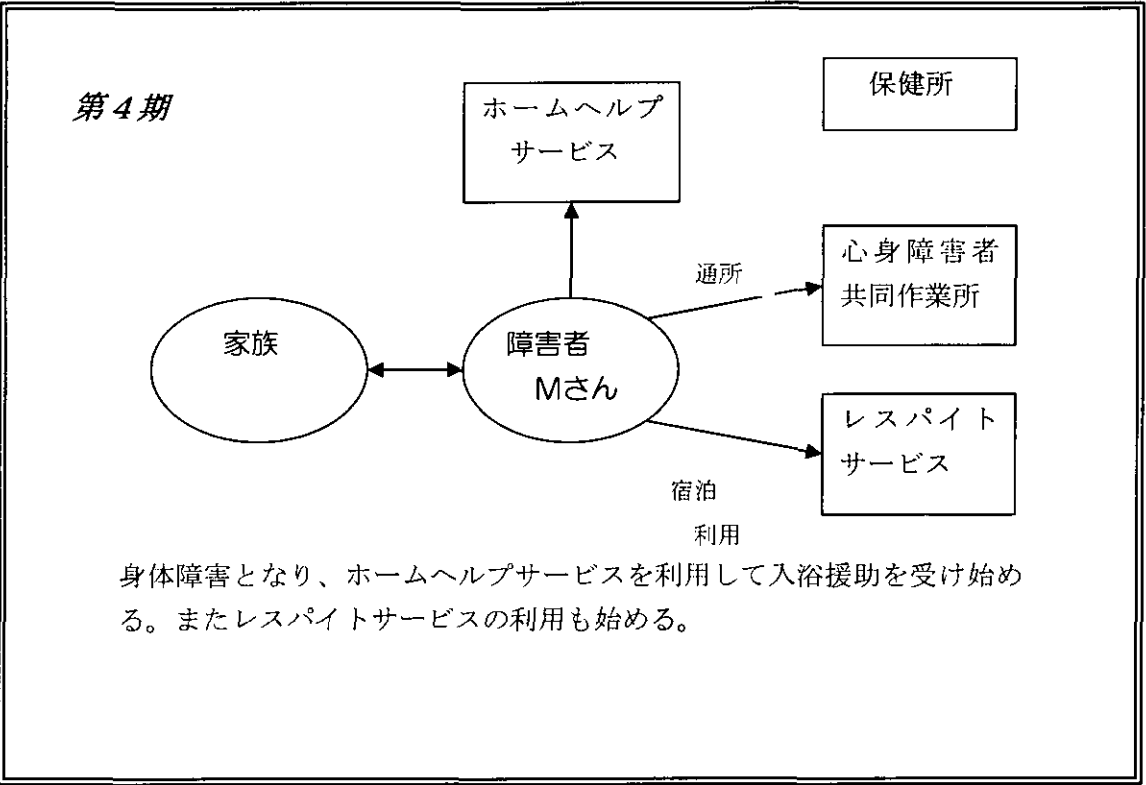
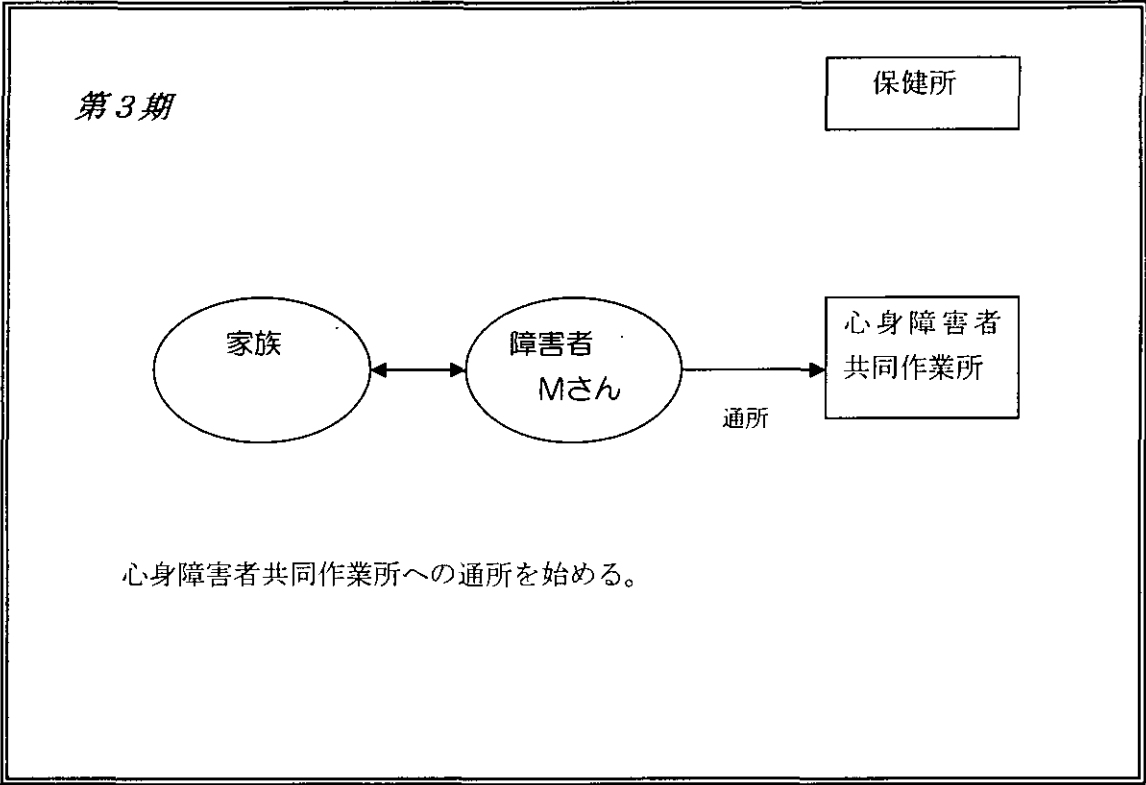
2) 1週間のスケジュール

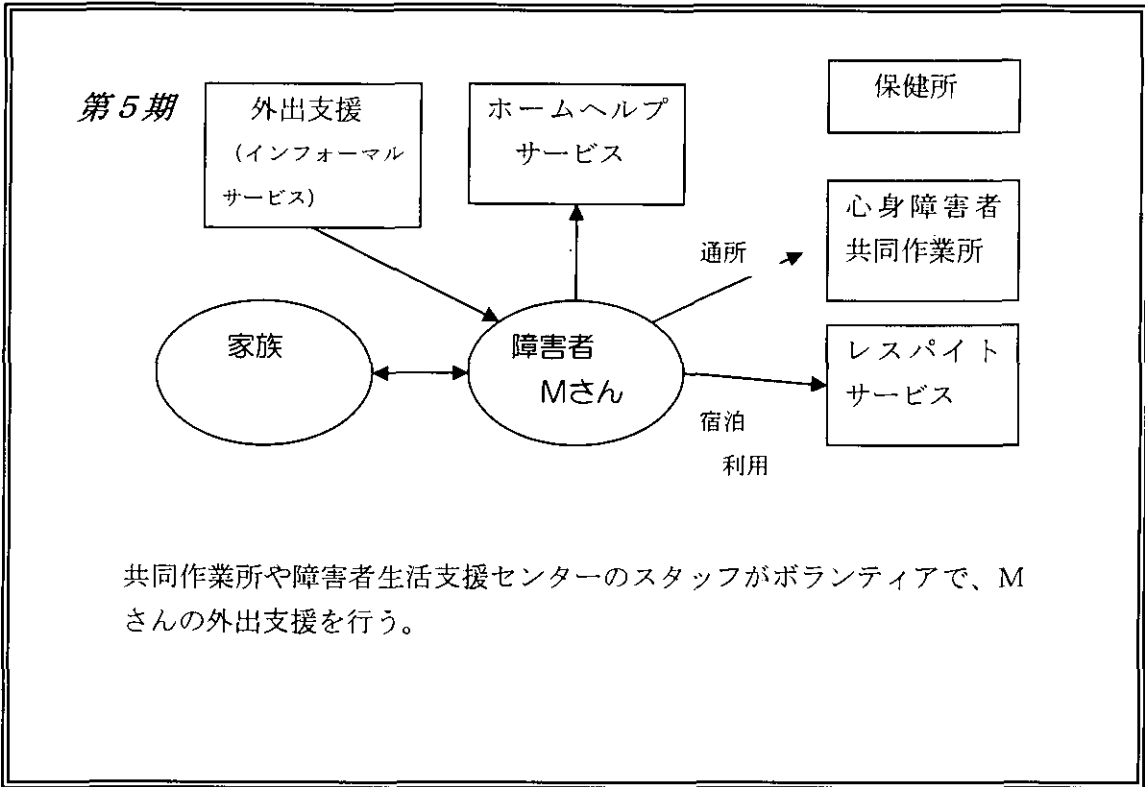
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
0:00							
30							
1:00							
30							
2:00							
30							
3:00							
30							
4:00	家族	家族	家族		レスパイト		
30							
5:00							
30							
6:00						家族	
30							
7:00				家族			
30							
8:00							
30							
9:00			病院リハ				
30							
10:00							
30							
11:00	作業所						
30							
12:00		作業所			作業所		
30							
13:00			作業所				終日家族
30	事業所DA						
14:00	身体介護					事業所DA	
30						身体介護	
15:00							
30							
16:00					病院リハ		
30							
17:00							
30							
18:00							
30							
19:00							
30	家族	家族	家族	レスパイト	家族	家族	
20:00							
30							
21:00							
30							
22:00							
30							
23:00							
30							
24:00:00							

注) 上記の文章および表は、BMさん本人が記入した「ケース記録用紙」から作成した。ただし、社会資源の利用時間および活動の詳細については、2003年12月4日・5日に支援センター相談員が本人に対して行なった聞き取りによって加筆した。また、特別な記載がない場合、居宅介護については1名派遣である。

(4) BMさんをめぐる社会資源ネットワークの生成・変化







4-2 BHさんの事例

(1) BHさんのプロフィール

出生から発病以前まで

1947年11月、四国は小豆島で、姉3人、兄1人の5人きょうだいの末っ子として生まれる。幼稚園、小学校、中学校を卒業し、経理関係の専門学校へと進む。専門学校卒業後、2年間、洋裁と編み物の学校に通う。父は心臓が悪く、BHさんが中学2年生の時に亡くなった。

20歳の時に、近所の人のお勧めで観光船の乗務員の仕事である通称「マリソングール」に応募する。「足がきれい」との理由で採用された。BHさん曰く、「マリソングール」の仕事が一番楽しく、また当時の女性のお給料としては高額をもらっていた。

「マリソングール」として約4年間働いたが、大阪に出ていた兄から「大阪に出てこないか」と誘われ四国から大阪に出る。大阪に出て約2年は兄夫婦と同居させてもらったが、その後アパートで1人暮らしを始める。大阪ではアルバイトをしながら医療事務の学校に通い、資格を取る。資格取得後、整形外科に勤め、医療事務と受付の仕事を行なう。整形外科での仕事は約2年で退職し、26歳の時に、大阪難波にある経理事務関係の会社に転職した。

発病から病名がわかるまで

33歳（1980年ごろ）のある日、突然目がかすんで片方の目が見えなくなってきた。自分でも「体調がおかしい…」と思い近所の病院で診てもらったが、医師には「どこも悪くない」と言われる。今から思えばヤブ医者で、毎日ビタミン剤の点滴ばかり受けていたとBHさんは話す。

体調がおかしいながらも仕事は続けていたが、そのうち手の動きが制限され始め、文字を書くことができなくなる。そして、会社での仕事にイスから転倒し、救急車で病院に運ばれる。しかし、その時も「原因はわからない」と言われ、入院治療してもらえず帰宅した。

会社で倒れた一週間後、今度は自宅で意識がなくなり、偶然訪問してくれた近所の人から異変に気づき救急車を呼び病院に運ばれる。ようやく入院となり、検査の結果、頸動脈が詰まっていたことがわかるが手術などはなく、その病院でも医師は治療法がわからないまま点滴を打つばかりの毎日だった。入院10日後には大部屋に移される。入院直後は歩行もできない状態にまでなっていたが、ようやく自力歩行できるようになって回復し、BHさん自身も「もう大丈夫だろう」と思い退院する。半年間という長期の入院だったため、この間に仕事は退職となった。

しかし退院はしたが、自分の病気はいったい何なのか不安が残ったままだった。そのことを、入院前に務めていた会社の上司に相談をすると「知り合いの病院を紹介してあげる」と言われ、大阪府吹田市にある国立循環器センターを紹介される。紹介はしてもらえたものの、国立病院のため、すぐに入院はできない状態だった。しかし、早くなんとかかしたいとの思いから、近所の議員の力を借りて長期間待たずに入院できることになった。

国立循環器センターでの検査の結果、難病で特定疾患に指定されている「大動脈炎症候群」と診断される。正しい病名がわかるまでに1年近くの時間が経っていた。国立循環器センターには、約半年入院して検査と薬による治療を受ける。個室での入院だったが、退

屈だろうからと担当の医師が BH さんのために自宅から医学書を持ってきてくれ、毎晩それを読んでいた。

退院後の生活

退院後、兄家族の家に戻る。この時には母親も四国から大阪に出てきて、兄夫婦と同居していた。退院後も約 1 年国立循環器センターに通院してリハビリを受ける。

母親が亡くなり、大阪から京都府に兄の家族と一緒に転居する。京都に転居後は、奈良県にある病院で週 3 回のリハビリを受ける。週 3 回も通っていたのは、家ですることなく過ごしていて、暇だったからだと言っていると BH さんは話す。

障害者共同作業所へ

45 歳の時、民生委員から「毎日暇だったら、どこかへ通ったら」と言われ、障害者共同作業所を勧められる。BH さんは、障害者ばかりの環境に行くことにあまり乗り気ではなく最初は「行きません」と返事を返していたが、しばらくして共同作業所に通い始める。

グループホームへの入居

家庭の事情により、50 歳の頃、知的障害者のグループホームに制度外で入居した。知的障害のある男性 3 人との生活が始まる。

2003 年に支援費制度が始まってからは、週 1 回ホームヘルプサービスを利用して、入浴援助と居室の掃除をしてもらっている。

グループホームには夜間の見守りを必要とする知的障害の人も入居しているため、夜間アルバイトのスタッフが泊まりに来る。ほとんどが男子学生だが、週 1～2 回は女子学生と主婦の人が泊まりに来るので、その時を BH さんは楽しみにしている。

(2) BH さんの 1 週間

2003 年 12 月 15 日 (月)

グループホームでの朝

朝 6 時 30 分、トイレに行くために起きる。朝は必ずこの時間に目が覚めてトイレに行く。トイレに行った後、再度布団に入る。ラジオをつけて布団の中で聞く。ラジオ大阪でフセイン元大統領が捕まったニュースが流れていた。

7 時 30 分になり、布団から出て着替え洗面をする。朝食は自分でトースト 1 枚と牛乳を用意して食べる。昨晩は女性のアテンダント K さんが宿泊した。兄が持ってきてくれた柿を K さんにむいてもらい、朝食後に一緒に食べる。K さんと 8 時 30 分ごろまで楽しく話しをする。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：アテンダントに柿をむいてもらう (10 分)

作業所での 1 日

作業所に行くため、9 時 40 分にグループホームを出る。駅から作業所の送迎バスに乗るため、グループホームから歩いて駅まで行く。今は送迎バスに乗る人が減っているので、バスの中はとても静か。バスで 5 分ぐらいで作業所に着く。

10 時に作業所に到着し、午前中は作業班担当スタッフの運転するワゴン車に乗り、みんなで向日市にある施設にバザー用の商品を持って行く。車の一番後ろの座席に座っている S さんが「ジュースを買おう」とまだ納品が終わっていないのに言い始める。S さんは、

仕事のことよりも、ジュースを買うことで頭がいっぱいの様子である。スタッフが「納品を済ませたら、ジュースを買うから」と言うと、Sさんは「早くして!」とせかしていた。納品の帰り道、コンビニに寄ってジュースとお菓子を買って食べた。

12時30分、作業所に戻る。食堂で給食を食べる。メニューはすきやき風煮・みそ汁・ごはん美味しく食べられた。

13時30分から午後の作業を開始する。作業班の何人かで、作業所で作ったカレンダーをこの1年お世話になった所に配りに行く。この日は、保育所・小学校・中学校に配りに行った。

15時から作業場の掃除と班ごとの反省会があったが、どちらもあまりちゃんとやっていない。反省会中にSさんがまた「おやつほしい」と言い出すが、スタッフに「お水だけ」と言い返されて、Sさんはブツブツと文句を言っていた。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：共同作業所（6時間）

帰宅途中

15時40分、作業所の日課が終了して、行きと同じように送迎バスに乗って駅まで帰る。15時40分ごろ駅に着く。駅から歩いてグループホームまで歩くが、足の調子が悪いので、杖をついていても歩行がふらつく。途中、よその家の植木などにもたれながら歩くが、時々木に寄りかかりすぎて枝を折ってしまうことがある。そんな時は「ごめんなさい」と謝って帰る。帰り道、近所の人が「大丈夫?」と声をかけてくれる。駅から20分かけてグループホームに着く。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：近所の人の声掛け

グループホームでの時間

16時にグループホーム帰宅する。帰宅する頃には世話人が来ていて夕食作りをしている。

その後、自分の部屋でテレビを観る。『ナースのお仕事』の再放送を観る。17時から入浴しようと浴室に行くが、今日はなぜか水道水が赤く濁っている。世話人に何度も水の入れ替えをしてもらって、17時30分にやっと入浴できた。BHさんは、いつも夕食前に一番に入浴を済ませている。

18時30分に夕食を食べる。アテンダントが配膳してくれる。メニューはハンバーグ・サラダ・味噌汁で、入居者全員で台所にて食事を食べる。

20時、自分の部屋に戻り、本調査の聞き取りに来た支援センタースタッフと話をする。21時、就寝前に玄関の鍵とガスの元栓を閉める。玄関の鍵を閉めたこと・ガスの元栓を閉めたことをアテンダントに伝えて自分の部屋に戻る。その後すぐ布団に入る。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：グループホーム世話人による夕食作り（2時間）、アテンダントによる夕食配膳・片付け（20分）

2003年12月16日（火）

グループホームでの朝

6時30分、トイレに行く。その後また布団に入りラジオを聞く。今日は、KBS京都を

聴く。7時30分に起床する。着替えて洗面。朝食はいつもと同じようにトースト1枚と牛乳を自分で用意する。今朝はトーストにぬるバターが無く、何もぬらずに食べた。残り少なかったバターを同居者のKさんが他のみんなのことを考えずに全部使ってしまったために無くなった。朝食後、いつもなら夕食用のお米を洗うのがBHさんの役割だが、今晚は同居者Tさんの希望で赤飯のため洗わなかった。

8時10分、テレビでフセイン元大統領が捕まったことを報道しているニュースを観る。日本の自衛隊派遣もどうなるのか気になるとBHさんは話す。9時40分、作業所に行くためグループホームを出る。朝は足の調子は良いのだが、1日作業所に行っていると疲れて、夕方には足がふらついてしまう。駅から送迎バスに乗る。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：なし

グループホームでの時間・夕食など

16時、グループホームに帰宅する。世話人が来ている。昨日と同じ『ナースのお仕事』を観る。おもしろいのでBHさんが好きな番組である。今日は17時に入浴する。グループホームは男性の入居者ばかりなので、BHさんがいつも一番に入浴させてもらう。男の人が入浴したあとは汚くて嫌なので一番に入っている。

18時に夕食を食べる。メニューは赤飯・しゃけ・湯豆腐・白菜のおひたしで、赤飯が美味しかった。夕食後、宿泊のアテンダントに柿をむいてもらって食べる。甘くておいしかった。

BHさんはベッドで寝ているのだが、いつも掛け布団がベッドからずり落ちるため何とかしたいと思っている。マットレスが分厚すぎるから、ベッド横の柵から掛け布団が落ちるのだと思う。マットレスをやめて、普通の敷布団に変えてほしいと、本調査の聞き取りに来ていた支援センタースタッフに相談する。2階の押入れから敷布団を出し、布団乾燥機をかけてもらう。アテンダントにもてつだってもらって交換する。

21時、10チャンネルで『俺達の旅』というドラマを観る。以前に放送していたドラマなので懐かしい。23時ごろまで観ていて、その後布団に入る。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：グループホーム世話人による夕食作り(2時間)、アテンダントに柿をむいてもらう(10分)、夕食配膳・片付け(20分)、アテンダント・支援センタースタッフによる布団の入れ替え(20分)

2003年12月17日(水)

グループホームでの朝

今朝は7時にトイレに起きる。寒いので、また布団に入る。7時30分に起床する。着替えて洗面を済ませて朝食を食べる。朝食後、夕食用のお米を4合洗う。水が冷たかった。8時、セーターを2枚手で押し洗いする。洗ったセーターを自分の部屋の縁側に干す。Kさんは9時前にグループホームを出て行った。今日はデイセンターの『パン班』で実習らしい。

9時に世話人が来る。Sさんの朝の服薬確認と送り出しのため、毎朝9時に来る。BH

さんは、世話人に「薄着して！」と怒られる。「もう着替える時間がない」と反論すると「朝早く起きて何をしていたの？ずっとテレビを観ていたの？」とまた怒られる。世話人が来ると、グループホームのみんなはスーッと出て行ってしまふ。Oさんだけは動くのが遅いので世話人に捕まってしまう。9時20分、作業所に行くためグループホームを出る。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：なし

2003年12月18日(木)

グループホームでの朝

6時30分、トイレに起きる。また布団に入るが、Kさんがアルバイトに出掛けるため、朝早くから1階と2階の部屋を行ったり来たりしてうるさい。階段をもう少し静かに昇り降りしてくれたらいいのと思う。7時30分に起床し、朝食を食べる。8時30分、グループホーム担当スタッフが来る。月1回の通院に一緒に行くことになっている。9時、病院に行くため出発する。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：なし

病院に行く

10時に病院に着く。診察まで30分待ち、診察時に医師に「もう落ち着いてきたので大丈夫ですよ」と言われ安心する。しかし、まだしばらくは月1回の通院と服薬はしないとイケない。次の診察の予約と薬をもらいに行ったりして、作業所に着いたのは11時30分過ぎになった。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：担当スタッフによる通院の付き添い(1時間40分)

作業所での活動

クリスマス会なので、11時40分から給食になった。メニューはから揚げ・ポテトサラダ・プチトマト・ホットドッグだった。今日の給食費は一人500円掛かっているらしい。給食の後、みんなでクリスマス会の準備を始める。

13時、クリスマス会を開始する。『スイートポテト』というコーラスとハンドベルのサークルの人がボランティアで来て演奏する。演奏を聴いた後、アニメのビデオを観るグループとカラオケをするグループに分かれた。BHさんはビデオを観たが、あまり面白くなかった。他の2人と一緒に部屋の隅っこで寝ていた。カラオケの人たちは2階で歌っていた。カラオケの方が、人数も多くうるさかった。

14時30分に作業部屋に移り、『まゆの会』というお菓子づくりのサークルの人が作って持ってきてくれたクリスマスケーキを食べる。BHさんのケーキをSさんがじっと見て欲しそうにしていたが、手で隠しながら食べた。紅茶も美味しかった。同じ班のメンバーが休日に嵐山に遊びに行った時の写真を見る。アイスクリームを食べている写真だった。

15時45分、送迎バスに乗って帰る。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：共同作業所(4時間20分)

グループホーム

グループホーム帰宅する。16時10分、ヘルパーが来る。最初に部屋の掃除をしてもらう。その後、入浴を手伝ってもらう。洗髪は力の入れ加減がとても気持ちいい。体もヘチマで洗ってもらう。自分では洗にくい背中などをこすってもらう。

押入れの開閉が一人ではできないので、押入れにしまっている肩掛けを出してもらう。ヘルパーに「BHさんは細くて折れそう」と言われるが、逆にヘルパーはたくましい体格をしているので羨ましい。18時ごろヘルパーが帰った。

夕食後、自分の部屋は寒いのでリビングで過ごす。アテンダントとOさんと3人で話をしながら過ごす。22時に就寝した。

※) 支援費による社会資源：ヘルパーヘルパー派遣事業所による身体介護（2時間）

支援費以外の社会資源：グループホーム世話人による夕食作り（2時間）、アテンダントによる夕食配膳・片付け（20分）

2003年12月19日（金）

グループホームで忘年会

16時10分、作業所からグループホームに帰宅した。夕方から忘年会で外食し湯冷めするので入浴せず、忘年会から帰ってきてから入浴することにした。

18時、グループホームの忘年会で居酒屋に車で行く。3つのグループホーム合同だったので、スタッフも含めて18人ぐらい集まった。串カツやササミなどが美味しかった。みんな良く食べた。

21時、忘年会から帰宅し、入浴する。21時30分、テレビで京都の小学校で起きた事件のニュースを観る。ドラマを見ると最後まで見たくなくて寝るのが遅くなるのでニュースにした。今日のアテンダントは大学生の女の子だった。最近アテンダントとして来るようになり、かわいい人で仲良くしている。22時に布団に入る。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：グループホームスタッフによる忘年会の付き添い（3時間）

2003年12月20日（土）

鍼灸院に行く

9時、針治療を受けるため歩いて近くの鍼灸院に行く。BHさんの体には、針治療がとても合っている。お灸は時々で右腕にしてもらう。先生と話をしていて、12月23日（火）に先生の家でクリスマス会をすることになる。同じ作業所から針治療に来ている人とスタッフを誘って、23日に先生の家に向うことになる。

鍼灸院の帰りにスーパーに行き、お昼のおかずを買う。ここではいつも同じおかずを買う。マリネと南瓜を買う。南瓜は大好きなのでいつも買っている。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：鍼灸院（1時間）

グループホームでの時間

10時30分にグループホーム帰宅する。帰宅後、たくさんある葉の整理と洗濯をする。座布団カバーが汚れていたのでも洗う。12時、買ってきたおかずを食べる。土・日の

昼食は各自で用意して食べている。昼食後、テレビを観たり新聞を読んで過ごす。新聞は一週間分まとめて読む。

16時に世話人が来る。残っていたご飯をつかってチャーハンを作っていた。

17時に入浴、18時夕食、夕食後は自分の部屋でテレビを観て過ごす。21時、明日は作業所で餅つきがあるので早めに就寝する。でも、BHさんは、明日寒ければ餅つきには参加しないつもりでいる。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：グループホーム世話人による夕食作り（2時間）、アテンダントによる夕食配膳・片付け（20分）

2003年12月21日（日）

休日の餅つきに参加

9時20分、作業所の餅つきに参加するため、駅まで歩いて行き送迎バスに乗る。実家に行く予定を午後からに変更して餅つきに参加した。作業班ごとに順番に餅をつく。できた餅は各自で分けて持って帰った。昼食におはぎ・豚汁が出る。豚汁がおいしくおかわりした。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：共同作業所（3時間）

実家に行く

餅つきの帰り、駅で送迎バスを降ろしてもらおう。兄が駅まで車で迎えに来てくれていた。実家に着くと、友達が二人来ていた。一人は美容師をしていて、以前はグループホームまで来てくれて散髪をしてくれていた。でも、グループホーム同居者の一人が、友達が来ることに對してよい顔をしなかったのが今は来てもらっていない。友達との話の中で、仲の良かった友達が離婚したことを聞く。

兄嫁の義母に手作りの来年の干支飾りをもらう。毎年くれる。15時30分、兄の車でグループホームまで送ってもらう。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：兄・義母・友達（2時間30分）

グループホーム帰宅

グループホームに帰宅し、16時30分から入浴する。18時にアテンダントが来る。日曜日は世話人が来ないので夕食は宅配のお弁当だが、魚ばかりでありあまり美味しくない。夕食後、アテンダントと話をする。今日のアテンダントは大学4回生で、もうすぐ卒業なので、アテンダントとして来るのもあと少しである。

自分の部屋でドラマを観る。遅くまでテレビを観すぎてしまった。22時に布団に入って就寝する。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：アテンダント夕食配膳・片付け（20分）

(3) BHさんが1週間に利用する社会資源(2003年12月15日~21日の場合)

1) 社会資源の種類別にみる所要時間の内訳

種類 曜日	支援費による社会資源	支援費以外の社会資源		
	身体介護	作業所	グループホーム	その他
月曜		作業所	世話人2時間,アテンダント20分	近所の人(声掛け)
火曜		作業所	世話人2時間,アテンダント20分	支援センターWr20分
水曜		作業所	世話人2時間,アテンダント20分	
木曜	事業所A 2時間	作業所	世話人2時間,アテンダント20分, スタッフ1時間40分	
金曜		作業所	スタッフ3時間	
土曜			世話人2時間,アテンダント20分	鍼灸院1時間
日曜			アテンダント20分	家族・友人2時間30分
合計	2時間	5日	16時間40分	3時間50分
備考	この週は週1回しか利用していない。 グループホームには役割分担があり、入居者それぞれが、レベルの差こそあれ相互支援をして生活している。			